



ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会 編集発行人/高田 勝之

vol.105

2015.1.1

岐阜市鶴舞町2-6-7
ワークプラザ岐阜内
TEL (058) 248-6029
FAX (058) 245-2410

【岐阜労福協機関紙】 連合岐阜・東海労働金庫・全労済・岐阜県勤労福祉センター <http://www.gifu-rofuku.jp/>



会長あいさつ

岐阜県労働者福祉協議会

会長 高田 勝之



岐阜労福協の会員並びに関係者の皆さん、新年あけましておめでとうございます。ご家族の皆様と共に、健やかに新年を迎えられたこととご推察申し上げます。また昨年は岐阜労福協の活動に、格別のご協力を賜りましたこと、心よりお礼を申し上げます。

さて昨年は、8月の全国的な集中豪雨や9月の御嶽山噴火、10月の台風、そして11月の長野北部地震、更には12月の暴風雪など、本当に自然災害の多い年ではなかったでしょうか。

東日本大震災の発生から3年以上が経過をする中で、改めて自然の恐ろしさを思い知らされたとしり上げても過言ではありません。同時に、まさかの災害に備えて、日頃から十分な備えをしておく事の大切さを教えられたのではないのでしょうか。岐阜労福協としても、自然災害の多い状況を鑑みて、岐阜県への要請行動には、継続的に『防災・減災の取組みの充実、強化』について、取り入れていきたいと考えています。

次に私達を取巻く環境について、少しふれておきたいと思います。昨年末の衆議院選挙の結果、自公政権が当面続くこととなりました。この結果は私達にとって、『安心をして暮らし、働く』

には程遠い状態が続くと言わざるをえません。2015春闘における、連合構成組織の皆さんの頑張りで大いに期待をしたいと思います。そして同時に、労福協としての果たすべき役割が大きい事も認識をし、東海労働金庫や全労済とも連携を強化し、活動方針に沿って様々な取組みを進めていきたいと思っています。

今ひとつ申し上げておきたいのは、岐阜労福協として創立されてから、60年が経過をしたことです。人間で言えば還暦を過ぎた訳であります。この節目を記念し、昨年からの記念式典や祝賀会を始めとして、様々な記念事業を実施してきております。

岐阜労福協としては、この機会に改めて創立当初の原点に立返り、今後の新たな運動につなげていかなければならないと思っています。

最後になりますが、今年1年がどんな年になるのか、予測は困難ですが、岐阜労福協としては、少しでも明るい年になることを祈るとともに、関係者皆さんのご多幸をお祈り申し上げたいと思います。より一層のご支援をお願い申し上げ、新年にあたってのご挨拶と致します。

中央労福協 第6回加盟代表者会議開催! 連帯・協同でつくる安心・共生の 福祉社会の具現化、実践化を進める!

第6回加盟団体代表者会議が、昨年11月28日に開催されました。2014年度の活動報告及び2014年～2015年度の活動方針の中間総括と課題・補強が行われました。「労福協の理念と2020年ビジョン」の折り返し点に当たる2014年度は、①貧困や多重債務のない社会に向けた取り組み、②労働運動、労働者自主福祉運動の連携による共同事業の利用促進や共助拡大などを重点課題に取り組み、10月からは「生活底上げ・福祉強化キャンペーン」などを全国で展開しました。2015年度は2014～2015年度の中間点にあたっての成果や課題を踏まえた継承・発展をはかり、さらなる具現化、実践化を進めることを確認しました。



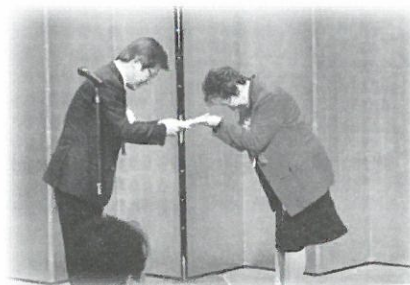
創立60周年 記念式典と祝賀会

『新たな前進を誓い合う』

岐阜県労福協創立60周年の記念式典は、昨年12月3日午後5時から、岐阜市内のホテルグランヴェール岐山において、多くの来賓と会員や役職員など関係者83名が参加して開催された。

冒頭、主催者代表して高田会長より日頃のお礼とワークプラザ岐阜の建設など最近10年間の主な出来事と、今後の労福協活動に対する決意を述べられた。そして来賓の岐阜県・岐阜市の代表者、中央労福協の渡邊副会長、連合岐阜の舟口会長から、祝辞が述べられた。続いて60周年記念事業として寄付贈呈が行われ、寄付先の「ぎふ子ども若者子育て市民ファンド＝ぎふハチドリ基金」の代表者に高田会長から寄付目録が手渡され、寄付先より感謝状が贈られた。

式典に続いて祝賀会が開かれ、高田会長の挨拶の後、来賓の元会長三名の方々より祝辞、そして代表者による鏡開きと乾杯が行われた。会場では、女性四人による軽やかな弦楽四重奏の曲が流れて、祝賀会に花を添えて頂いた。参加者は暫し思い出話などで時を過ごし、佐藤副会長の閉会挨拶で終了した。



『チャリティゴルフコンペを開催!』

11月5日に60周年記念のチャリティゴルフコンペを開催しました。例年のコンペは、各支部予選を勝ち抜いた代表チームと労福協・連合・事業団体の10チームで行っていましたが、今年度は創立60周年の記念コンペとして、会員からも参加していただき18チームで開催しました。

【競技結果】 **優勝**／西濃支部 **準優勝**／土岐支部 **三位**／中恵支部

※会場で被災地支援のチャリティをお願いしたところ、参加者の善意で、68,000円が集まりました。ご協力いただきました皆さん、感謝申し上げます。



被災地 岩手県内を 視察訪問!

常任幹事会では毎年、他県を視察訪問して、地元の労福協と意見交換会を行なって来ました。昨年度は、東日本大震災の被災地支援活動の一環として、宮城県の被災地と宮城県労福協を訪問しました。

今年度は岩手県労福協に訪問先を紹介して頂き、10月23日・24日に南部地域の釜石市・大槌町・陸前高田市を訪問しました。釜石市では震災直後からボランティア活動が続けた新日鐵住金釜石労働組合の三浦組合長から貴重な体験談をお聞きました。その後は数か所の被災地域を視察し、震災当時の状況をお聞きし、現在の復興状況を目で見て来ました。今後も様々な支援活動を継続して行きたいと思います。



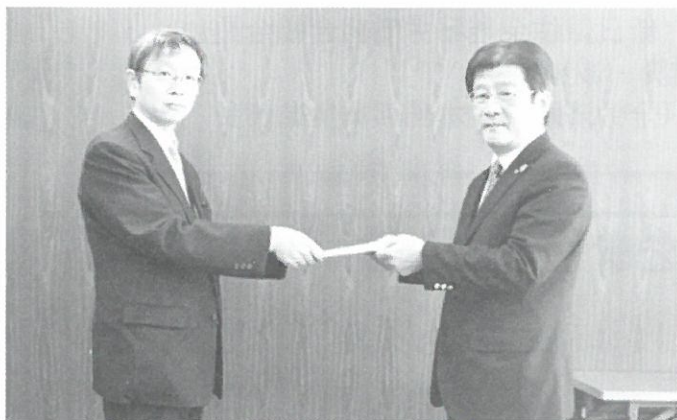
第10回顕彰者追悼式を開催!

昨年、10月28日、岐阜公園内に建立された社会貢献顕彰碑「やすらいの碑」において、第10回社会貢献者追悼式を開催しました。

参列者は岐阜県の渡辺労働雇用課長とご遺族と顕彰委員会のメンバーでした。昨年は顕彰者として1名の故人(早川 桂様)のお名前を奉納し、現在奉納されている方と合わせて17名の功績を偲ぶ追悼式となりました。顕彰委員会を代表して高田会長より挨拶があり、「一年に一回ですが、先人たちが残していった功績を後世の方々に引き継ぐ使命感を改めて感じたところです。」と役員としての決意の一端を述べられました。また追悼式を迎える前に10年を経過した顕彰碑の再整備を行いました。



勤労者福祉の向上をめざし県へ要請



11月13日、勤労者福祉の向上をめざし、岐阜県に対し要請を行いました。主な要請内容は、「財政支援」「生活保護制度に関する諸制度の水準堅持について」「生活困窮者自立支援制度の構築に向けて」「消費者行政の充実について」「防災・減災の取り組みについて」の5項目を要請しました。特に生活困窮者自立支援法の構築については、市町村との連携、防災・減災の取り組みでは、高齢者の避難対策について要請しました。なお、これらの要請に対する文書回答は2月に行われる予定です。

◀高田会長から藤野商工労働部長へ要請

第50回 岐阜県勤労者球技大会

(ソフトボールの部・ボウリングの部)

昨年、第50回を迎えた勤労者球技大会は、労福協創立60周年と重なり記念大会として位置付けて開会式後にエキシビションを行いました。10月19日に開催したソフトボール県大会は、女子実業団チーム「みなも」のバッテリーを招待し、各チームの代表者と対戦してもらいました。ピッチャーの投げる球の速さに三振する選手が続出して、参加者の皆さんに楽しんで頂きました。また11月9日に開催したボウリング県大会は、アジア大会ナショナルチームの三選手(岐阜県出身)をお迎えし、模範妙技を見せていただきました。参加者は三選手の素晴らしい投球術を感心しながら観ていました。

球技大会の成績結果

- ソフトボール大会
- ボウリング大会

優勝	ハウテック	準優勝	丸順労働組合
優勝	イビデン	準優勝	東海西濃運輸



創立60周年 記念講演の案内

- 日 時 2015年1月17日(土) 午後2時から4時半
- 場 所 ワークプラザ岐阜 5階 大ホール
- 内容Ⅰ. 記念講演 テーマ「津波被害から4年～あの時を振り返る」
講師 三浦一泰氏(新日鐵住金釜石労働組合組合長)
- 内容Ⅱ. 全労済講演 テーマ「防災・減災について」
講師 下野陽司氏(全労済岐阜県本部事業推進部長)



新春のお慶びを申し上げます

東海労働金庫
全労済岐阜県本部
(一社)岐阜県勤労福祉センター

専務理事
県本部長
理事長

三尾 禎一
豊田 由二
高田 勝之